

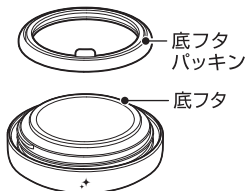
ゴリラの底チカラ GRMB

取扱説明書

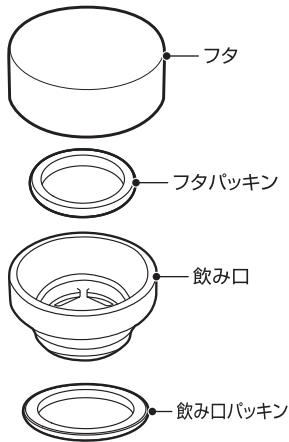
このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。飲みものの保温、保冷以外には使用しないでください。
また、業務用としての使用はしないでください。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。
お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。



底フタユニット



せんユニット



※お買い上げ時は装着済みです

《注意》底フタ・フタパッキンが確実に装着されていることをご確認ください。

説明書中のイラストは実際のものと異なる場合があります。

また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用になる前に

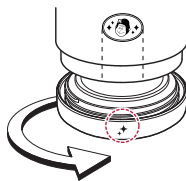
- はじめてご使用になる前に、本体・底フタユニット・せんユニットの傷、凹み、ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 本体にシールが貼ってある場合は、シールをはがしてからご使用ください。
- はじめてご使用になる時は、本体内側・底フタユニット・せんユニットを中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

ご使用方法

1 底フタを閉めます。

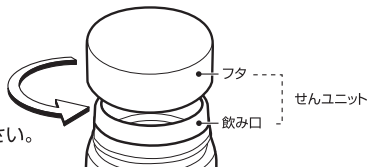
底フタを矢印の方向にまわしてください。

注 飲みものが漏れないように、底フタにある
★マークが本体ロゴプレートの真下付近に
くるまで最後まで確実に締め付けてください。



2 センユニットをはずします。

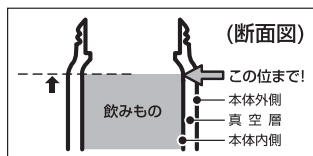
せんユニットを矢印の方向にまわしてはずしてください。



3 飲みものをいれます。

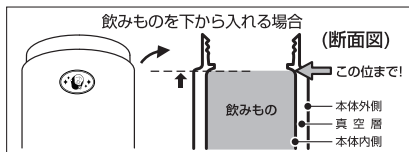
飲みものの量は右図の位置までにして
ください。

入れすぎると、せんユニットを閉めたとき
に飲みものが溢れ出る原因になります。



※フタパッキン・飲み口パッキンは必ず正しく
取りつけているか確認してください。

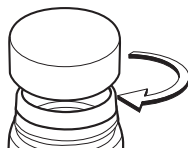
注 本体底側から水などを入れる場合は、
せんユニットが本体に取り付けてあることを
確認し、本体をしっかりとした状態で右図
の位置までにしてください。
入れすぎると、底フタユニットを閉めたとき
に飲みものが溢れ出る原因になります。



4 センユニットを閉めます。

せんユニットにパッキンが取り付けであることを確認し、
本体を立てた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわして
確実に閉めてください。閉めた後は、せんユニットが確実に
に閉まっていることを確認してください。

注 せんユニットを閉めるときは、本体を傾けたり
揺らしたりしないでください。飲みものが溢れ出たり、
漏れたりして、ものを汚す原因になります。



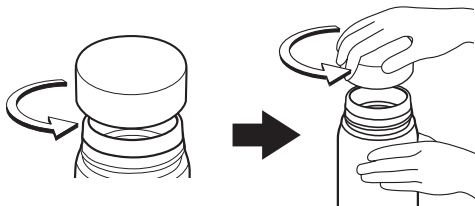
ご使用方法

5 飲みものを飲みます。

1. 本体を立てた状態で、フタを矢印の方向にまわして開けてください。

注

フタはしっかり持ち上げて取りはずしてください。



2. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲みます。

注

飲む際には本体を落とさないように確実に持ってください。

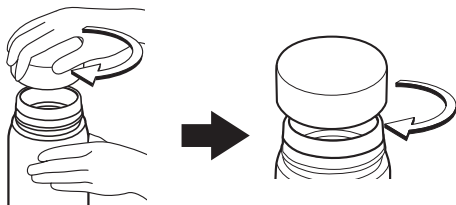
注

熱い飲みものを入れた場合は、ヤケドにご注意ください。



6 飲み終わったら。

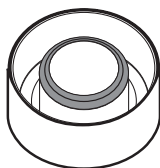
本体を立てた状態で、フタを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。
閉めた後は、フタが確実に閉まっていることを確認してください。



フタパッキン・飲み口パッキンのはずし方・取り付け方

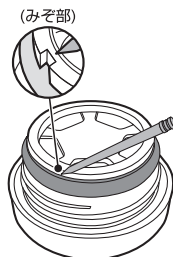
フタパッキンのはずし方

パッキンを破損しないように注意して取り外してください。



飲み口パッキンのはずし方

パッキンを破損しないようにつまようじなどを使い注意して取り外してください。

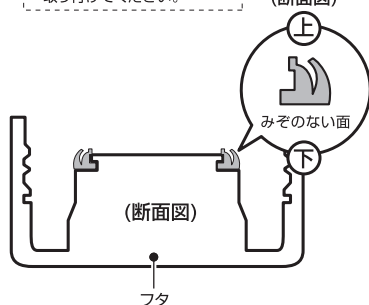


フタパッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

注 みそのない面を下向きにして取り付けてください。

(断面図)

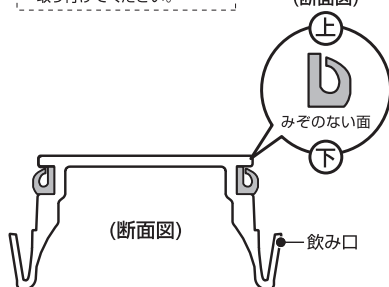


飲み口パッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、飲み口に正しく取り付けてください。取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

注 みそのない面を下向きにして取り付けてください。

(断面図)



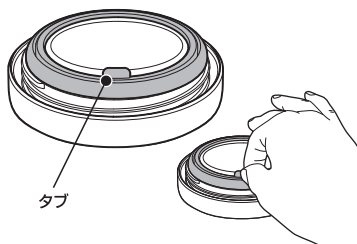
※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。

※取り付け後は、せんユニットが正常に取り付くことを確認してください。

底フタパッキンのはずし方・取り付け方

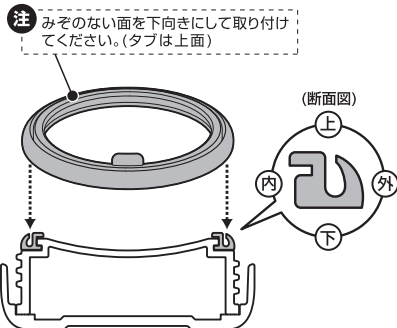
底フタパッキンのはずし方

底フタパッキンの上面凸部分にあるタブをつまんではずしてください。底フタパッキンを破損しないように注意してください。



底フタパッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。取り付け後は、底フタパッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。



※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。

※取り付け後は、底フタユニットが正常に取り付くことを確認してください。

お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた中性洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

本体のお手入れ

中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。

本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に入れ30分間（目安）つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。



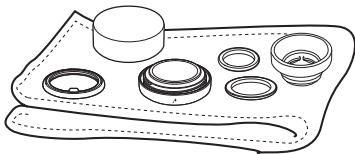
注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上昇し、せんユニットが破損するおそれがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 本体は水中に放置しないでください。

せんユニット・底フタユニットのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。

長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。洗浄時にパッキンをはずす場合は、洗浄後にパッキンの付け間違いがないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れ上のご注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■ 本体・せんユニット・底フタユニットは煮沸しないでください。

部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

■ 食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

お手入れ上のご注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体は水中に放置しないでください。

保温・保冷不良の原因になります。

■塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側と底フタ外側には漂白剤を使用しないでください。



警告

●こどものいたずらに注意して、乳幼児の手の届くところには置かないでください。



ご使用上の注意

●底フタパッキン・フタパッキン・飲み口パッキンが確実に装着されていることを確認してください。

飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。底フタパッキン・フタパッキン・飲み口パッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

●せんユニット・底フタユニットが確実に閉まっていることを確認してください。飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。せんユニット・底フタユニットは真っ直ぐに閉めてください。また、確実に装着しても底フタユニットより飲みものが漏れる場合は、使用をとめ弊社お客様相談室までご連絡ください。

●飲みものの保温・保冷以外には使用しないでください。

●ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。
製品の変形、変色の原因になります。

●電子レンジでの加熱はしないでください。
火花が飛び危険です。

●冷凍庫には入れないでください。



ご使用上の注意

- **せんユニット・底フタユニットは傾けた状態で開閉しないでください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- **飲みものの量はP2の3項図の位置までにしてください。**
入れすぎるとフタが開かなくなったり、せんユニット・底フタユニットを開めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になります。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。**
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上昇し、せんユニット・底フタユニットが開かなくなるおそれがあります。また、飲みものが噴き出したり、破損して飛散するおそれがあり危険です。
- **飲みものを入れた後、本体を逆さにして漏れないことを確認してください。**
- **次のものは絶対に入れないでください。**
 - **ドライアイス・炭酸飲料水**
内圧が上昇し、せんユニット・底フタユニットが開かなくなるおそれがあります。また、飲みものが噴き出したり、せんユニット・底フタユニットが破損して飛散するおそれがあり、危険です。
 - **みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの**
本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分により、サビが発生する原因になります。
 - **アルコール飲料**
アルコールは、発酵して内圧が上がり、せんユニット・底フタユニットが破損して飛散することがあり危険です。
- **スポーツドリンクや牛乳・乳飲料・果汁など入れた場合は、使用後すぐにお手入れしてください。**
スポーツドリンクに含まれる塩分により、サビが発生する原因になります。また、牛乳・乳飲料・果汁などは成分の腐敗や変質の原因になります。腐敗などによりガスが発生して内圧が上昇し、せんユニット・底フタユニットが開かなくなる恐れがありますのでご使用後すぐにお手入れしてください。
- **においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。**
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- **熱いやカンなどを近づけないでください。**
変形やキズの原因になります。また、本体が転倒してものを汚す原因になります。
- **落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。**
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。また破損する原因になります。



ご使用上の注意

- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
故障、事故の原因となり危険です。
- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
- パソコン・スマートフォンなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、飲みものが漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になるおそれがあります。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
- お手入れの際、次の点を必ず守ってください。
 - 本体・せんユニット・底フタユニットは煮沸しないでください。
部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
 - 食器用洗淨機・食器用乾燥機は使用しないでください。
部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、においや汚れ、パッキンの変色の原因になるおそれがあります。
- 本体の上に座ったり、ものを載せたりしないでください。
部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- 本体外側がぬれた状態で使用しないでください。
本体を落としたり、ケガや事故の原因になります。
- 熱い飲みものを飲む場合、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。
ヤケドの原因となり危険です。

フタパッキン、底フタパッキンは消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、
表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。

困ったときのQ&A

Q 飲みものが漏れたときは？

- A
1. センユニット・底フタユニットが確実に閉められているか確認してください。
 2. 飲みものを入れすぎているか確認してください。
飲みものの量は適正な位置までにしてください。
 3. パッキンが確実に取り付けられているか確認してください。
上下の方向を確認し、正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。
 4. センユニット・底フタユニットが破損・消耗していないか確認してください。

Q 本体内側が変色したときは？

- A
1. 汚れが付着している場合、中性洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
 2. 斑点状の赤いサビが付着している場合水に含まれる鉄分などが付着したものです。
食酢を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
 3. ゼラゼラしたものが付着している場合
水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。
クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、センユニットを取り付けずに約3時間後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。

注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はセンユニットで密閉しないでください。
本体の内圧が上昇し、センユニットが破損するおそれがあり危険です。
酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

Q 保温・保冷が効かないときは？

- A
1. 熱い(冷たい)飲みものをいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
 2. 飲みものの量が少なくなっているか確認してください。
飲みものの量を多くすると効果的です。

Q 異臭がするときは？

- A
- 本体内側センユニット・底フタユニットに汚れが付着していないか確認してください。
ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。
また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



お電話でのお問い合わせはお待たせする場合がございます。また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますのでお調べまでにお時間を頂戴しております。インターネットをご利用いただいた方が早くご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は上記二次元コードもしくは、URLからご利用ください。

製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

 株式会社ドウシシャ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※製品、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※お電話をいただいた際にお話しいただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒915-0801

福井県越前市家久町41-1

株式会社ドウシシャ

福井カスタマーセンター